

世界遺産 登録を目指して (7)

今回は、10月から始まっている、第4講「平泉の価値」を紹介します。講師である盛岡大学の大矢邦宣教授が本講の導入として臨場感たっぷりに話した内容をそのまま掲載します。

○平泉の価値 そして「HIRAIZUMI」へ

「平泉」と言えば、「北方の王者・藤原三代の北の都」「黄金の平泉文化」「中尊寺金色堂」「浄土庭園都市」「義経最期の地」「頼朝による藤原氏滅亡」「芭蕉の名句・夏草や…、五月雨の…」などなど、日本人ならたちどころにいくつかのイメージが思い浮かぶだろう。日本国内において「平泉」は、歴史的にも文化の上でも冠たる存在なのである。

しかしながら、そんなことは世界ではまったく通用しない。世界における「平泉」の知名度は、今のところまったく無いに等しい。その「平泉」がいよいよ世界遺産になる。なぜだろうか？「平泉」の何が世界に認められたのだろうか？何をアピールできるのだろうか？

本講では2つの面からアプ



現世浄土・平泉の文化的景観、高館から白鳥館を望む

ローチを試みる。一つは「シルクロードの最東端ターミナル（発着点）」。シルクロードを通じて仏教は中国に伝わり、日本に伝えられた。その包容力ある新しい世界観は日本人の自然信仰、現世主義と結びついて日本的仏教世界を造り上げる。そのもっとも典型的な形が「現世浄土」として「平泉」に結実する。同時に伝えられた仏教美術や新技術も、金色堂に花開く。その一方「平泉」からはジバンゴ伝説がはばたき、大航海時代をもたらすきっかけをつくった。

もう一つは「文化の力」。清衡は戦乱で肉親のすべてを失った自分の前半生と、都から征伐を

受け続けたみちのくの歴史とを重ね合わせ、永遠の平和の道を探った。その答えが「平泉文化」であろう。都からの差別をなくし、都と対等の関係を築かなければ平和は訪れない。「平泉」は都の文化の導入にとどまらず、それ以上のものをめざした。永遠なるものは軍事力より「文化力」「平泉」はそれを世界に示している。

だけど『平泉』は滅びたではないか」と言われるかもしれない。さにあらず。清衡はもっと先を見つめていた。

あとは、講義をお楽しみに！
(文・大矢邦宣)

◇第4講「平泉の価値」開講日程

■開催日時 【会場】市埋蔵文化財調査センター：11月30日(木) 胆沢文化創造センター：12月7日(木)、前沢ふれあいセンター：12月14日(木)、衣川歴史ふれあい館：12月19日(火) (各会場とも、時間は午後1時半から3時まで)

■申込先 各支所生涯学習課※初めて受講される人のみ、申し込みが必要です。

消費生活Q&A相談

このコーナーでは、普段の生活で実際に相談があった事例から、その対処方法などを紹介します。
消費生活相談は水沢・江刺総合支所市民相談室に常設。詳しくは広報おうしゅうお知らせ版の「相談窓口」参照

Q1 ある日、テレビショッピングで便利そうな真空パックマシンを紹介していました。「どなたでも簡単にできます」と言っていたので早速注文してみました。商品が届き説明書を見ると何だか難しそうです。開封してしまいました。返品は無理でしょうか。

Q2 新聞の折り込みチラシにダイエツト飲料が掲載されていました。「飲むだけ」「やせてモテ」などと書いてあり、すぐに申し込んでみました。商品が届いて3日間は飲みましたが味が口に合いません。まだ3日しか経っていないのでクーリングオフできますよね。

A この2つの場合は、どちらも通信販売に当たります。通信販売にはクーリングオフ制度が

適用されません。その代わりに通信販売業者の多くが独自に返品制度を設けていますが、中には返品を認めない業者もあります。

通信販売は自宅にいながら買

い物ができる便利な方法ですが、テレビや写真で見た物と現物のイメージが違うこともよくあります。利用する前には、①返品制度がある業者であるかを確認(広告やホームページなどで細かくチェック)②申し込み内容の控えは必ず取っておく③支払い方法に注意(前払いやカード払いなど代金を先に払う場合は特に注意)などをきちんと確認しましょう。

今回の場合は返品制度を設けている業者であり、Q1では送料を、Q2では使用した分だけを支払うことで返品することができます。(江刺総合支所生活環境課相談係)

お元氣 レシピ

地産地消応援メニュー⑧

豆もち



材料(米1升分)

もち米……………1.5kg
黒豆……………180g
砂糖……………180g
塩……………小さじ2
※黒豆がなければ大豆と黒ゴマでもよい

作り方

- ①黒豆を洗い水分をふき取って2～3分空炒りする(豆の皮が割れ、帯ができるまで)
- ②もち米が蒸し上がったなら、その上にふきんで包んだ炒り豆をのせてもう一息蒸す
- ③②を器械でつき、つき上がったら砂糖と塩を加え手でこねる
- ④のしもちにし、冷めてから切る

わたしたちが作りました



奥州市前沢食生活改善 推進協議会の皆さん

大豆は米と一緒に食べることで、お互いのアミノ酸の過不足を補い、さらに栄養価が高い食品になります。特に黒豆はイソフラボンやサポニンを含み、コレステロールや脂肪の蓄積を防ぎます。

おえ氣ですか 市長です！



奥州市長
相原正明

菊薫る季節となりました。奥州市合併を果たして8カ月余となり、諸事業も軌道に乗りつつあります。

一方、市では総合計画作り、新しい行財政改革策定に向けて大わらわです。

こうした中、本庁・総合支

所の約1400人の職員は、議論を戦わせながら、日夜仕事に励んでおります。市長として、市民の皆様との対話に努めると同時に、職員との意思疎通を図ることが当然重要

であり、10月から新たな取り組みを始めました。

その1つは、職員が仕事や市政全般について日ごろ思っていることを市長に話し、それに対して市長も率直に答えながら相互理解を深める「市長と職員とのディスカッション」です。まず、総合支所の課長クラスから始めています。

さらに、テレビによる市長訓示、毎月1回のパソコン通信による「市長から職員への手紙」の発信を行っています。

市民福祉の向上のため、今後一層、職員と一丸となって取り組んでまいります。

また、先の職員による公金横領事件につきましては、心からおわび申し上げます。



あこやが 子育て広場

軽にどうぞ。

■開設日 11月～金曜日(祝日、年末年始を除く)

■開設時間 午前10時～午後4時(好きな時間にどうぞ)

■開設場所 11メイル地下1階(水沢区横町)

■問い合わせ 水沢総合支所福祉課子ども・家庭係(内線242)

胆沢保育園でも子育て支援センターを開設しています

10月号のこのコーナーで紹介した「地域子育て支援センター事業」の記事中で、胆沢区では同事業を実施していませんと紹介しましたが、平成11年度から胆沢保育園内に設置し、子育て相談などを実施しています。お呼びして訂正します。

詳しくは同園(☎2625)へお問い合わせください。